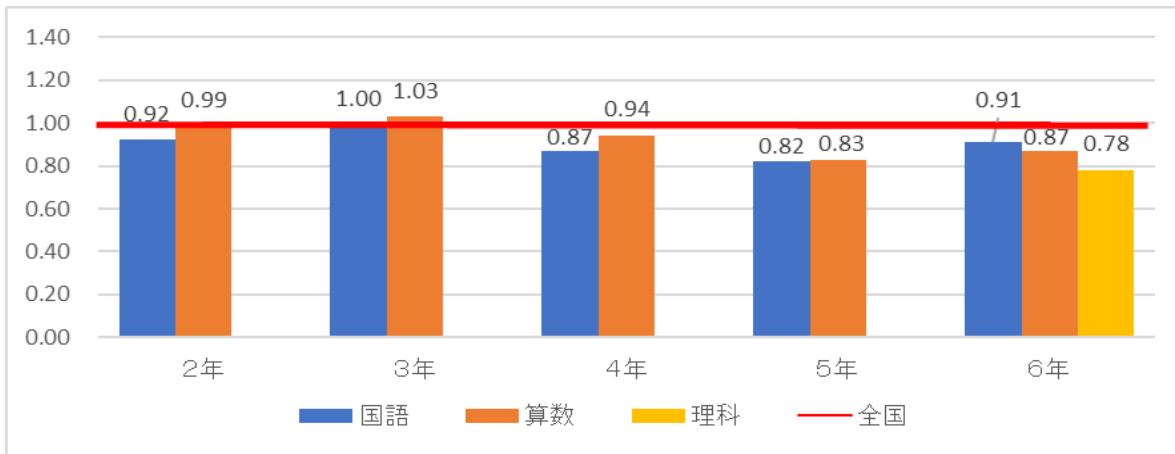


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第八中学校区 西小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「物語や説明文を読み取る」「文章を書く」問題に課題がみられた。音読を通して読解力を高めるとともに、伝えたい内容を整理して書く学習活動の充実を図っていく。
	算数	基礎的な問題は、比較的良好であるが、活用の問題において課題がみられた。基礎・基本の確実な定着を図りながら、授業の中で活用的な問題にも取り組んでいく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「事実と感想、意見などと関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること」の設問において、課題がみられた。授業で文章の構成を整理しながらまとめ、要旨について考え伝える活動に取り組んでいく。
	算数	「変化と関係」領域は、全国値を上回る結果であった。しかし「図形」領域において課題がみられた。図形の学習時は、操作活動を重視しながら見方を広げる学習活動に取り組んでいく。
	理科	「粒子」「生命」を柱とする領域において課題がみられた。知識を基に概念的に理解できるように指導を行っていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に、「1時間以上」と回答した児童の割合は、全国平均より大きく下回った。主体的に学ぶ力を持つためのサポートを行っていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

定期的に公開授業を行い、校区の子どもの実態把握に努めている。また、課題の共有と対応策の構築を図るとともに、授業力向上に向けて取り組んでいる。家庭学習の定着化を図るために、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。個別最適な学びを推進するために、個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【学校】

基礎・基本の確実な定着を図るために放課後学習を計画的に実施している。また、子どもたちが「分かるから楽しい」と感じ、自ら学び、探究する姿を育むことを目指して授業改善を進めている。